

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2002年7月30日

前週の州平均農作業可能日数が6.8日であったが全州に疎らであるが降水が記録された。気温は急激な上昇はなく、北中央地区では最高気温は87～92度Fであった。中央地区で99度を記録したが、同時に中央地区では他地区より降水量は多かった。Topsoilの水分は、州の32%の圃場で“極めて不足”、40%で“不足”となっている。“適”と報告されている圃場は27%と成った。Subsoilの36%が“極めて不足”、39%が“不足”、“適”が24%であり、多少改善した。7月1日のUSDA予想では、単位収量33.0ブッシェル/エーカーと6月1日予想の30.0ブッシェルより上向き修正となっている。

冬小麦は90%（昨年及び平年同期では96%）の圃場でTurning color（登熟）である。6%の圃場で収穫が開始された。昨年同期の収穫は37%、平年では26%である。春小麦は95%が出穂し（昨年同期：100%、平年：98%）た。昨年並びに平年より遅れており、7%春小麦が登熟期であるがこれは昨年同期の14%、平年10%より遅れている。但し、枯熟への進み具合は高温・乾燥の為早まっており既に2%の圃場で収穫が開始した。昨年並びに平年では収穫は0%である。春小麦の作柄はVery poor:5%、Poor:18%、Fair:42%、Good:28%、Excellent:7%である。

春小麦の7月1日付け生産量予想では、単位収量28.0ブッシェル（昨年：23.0ブッシェル）、99,400千ブッシェル（昨年65,550千ブッシェル）となっている。収穫面積予想は、3,550,000エーカー（2001年産：2,850千エーカー）となっている。

2002年7月28日現在

土壌水分：

Topsoil

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	32	28	22	25
Short (%)	40	42	29	41
Adequate (%)	27	27	46	33
Surplus (%)	1	3	3	1

Subsoil

Very short (%)	36	41	36	28
Short (%)	39	37	34	39
Adequate (%)	24	22	29	32
Surplus (%)	1	0	1	1

冬小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	7	23	46	21	3
Last week (%)	7	22	44	23	4
Last year (%)	36	29	24	10	1
5-yr. Ave. (%)	10	15	36	33	6

モンタナ州：小麦作柄と気象状況
2002年7月28日（続）

春小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week (%)	5	18	42	28	7
Last week (%)	6	18	39	33	4
Last year (%)	28	12	19	30	11
5-yr. Ave. (%)	9	13	30	39	9

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Winter wheat				
Turning (%)	90	85	96	96
Ripe (%)	34	19	81	63
Harvest (%)	6	1	37	26
Spring wheat				
Headed (%)	95	82	100	98
Turning (%)	51	31	69	64
Ripe (%)	7	3	14	10
Harvested (%)	2	0	0	1

Source: Montana Agricultural statistics Service